



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月27日

上場会社名 株式会社 小糸製作所
 コード番号 7276 URL <https://www.koito.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
 四半期報告書提出予定日 2022年2月2日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 加藤 充明
 (氏名) 小長谷 秀治
 TEL 03-3443-7111

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	552,397	10.6	38,325	12.3	43,263	16.9	27,463	25.6
2021年3月期第3四半期	499,523	17.4	34,115	44.9	37,003	42.1	21,859	49.9

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 39,701百万円 (19.6%) 2021年3月期第3四半期 33,198百万円 (30.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	170.86	170.81
2021年3月期第3四半期	136.00	135.96

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	814,479	599,518	69.5	3,523.98
2021年3月期	782,163	569,438	68.7	3,344.65

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 566,446百万円 2021年3月期 537,605百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		20.00		30.00	50.00
2022年3月期		24.00			
2022年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	743,000	5.2	52,000	8.3	56,000	8.4	35,000	6.9	217.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注)詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	160,789,436 株	2021年3月期	160,789,436 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	48,835 株	2021年3月期	53,614 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	160,738,748 株	2021年3月期3Q	160,734,739 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想については、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2022年3月期通期業績予想における前提為替換算レートは、1ドル = 109.8円、1円 = 17.1円として算出しています。

(参考) 2022年3月期の個別業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	298,000 △ 4.5	17,500 △ 17.2	37,000 △ 3.1	28,000 △ 26.4	174 19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国及び海外の経済情勢は、新型コロナウイルスの変異株による感染再拡大に加え、半導体不足、原材料価格の高騰、サプライチェーンの停滞、物流網の混乱などの影響が継続、緩やかな回復に留まっており、先行きは未だ不透明な状況にあります。

当第3四半期連結累計期間における自動車生産台数につきましては、国内では、第1四半期は前期の新型コロナ影響からの回復による大幅な増産はありましたが、第2四半期以降、半導体不足、サプライチェーン混乱等により減産に転じたことから、前年同期に比べ減産となりました。海外においては、前期の新型コロナ影響が大きかった欧州・ASEAN・インド等の大幅な回復はあるものの、国内同様、半導体不足等の影響が各地域で見られ、総じて世界自動車生産台数は前年同期に比べ若干の増産に留まりました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は、日本は前年同期比4.7%減となりましたが、海外では、北米・アジア等における増産や新規受注に加え、為替換算の影響等から、北米 同32.2%増、中国 同4.7%増、アジア 同32.1%増となり、連結では同10.6%増収の5,523億円となりました。

利益につきましても、増収に加え改善合理化等により営業利益は前年同期比12.3%増の383億円、経常利益は同16.9%増の432億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同25.6%増の274億円と、各利益とも増益となりました。

（2）財政状態に関する説明

ー 1. 資産、負債、純資産に関する分析

当第3四半期末の資産の残高は、売上債権が減少する一方、現金及び預金や投資有価証券の増加等により前期末に比べ323億円増加の8,144億円となりました。

負債の残高は、前期末並みの2,149億円となりました。

純資産の残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したこと、円安により為替換算調整勘定が増加したこと等により、前期末に比べ300億円増加の5,995億円となりました。

ー 2. キャッシュ・フローに関する分析

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益429億円、減価償却費258億円を主体に547億円となり、法人税等を支払った結果、452億円（前年同期は493億円）の資金を確保いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入861億円に対し、定期預金の預入による支出917億円、設備投資210億円等を実施した結果、322億円の支出（前年同期は11億円の収入）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金等の支払い94億円等を実施した結果、77億円の支出（前年同期は161億円の支出）となりました。

以上により、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ62億円増加の1,681億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期の業績予想につきましては、半導体不足やサプライチェーン停滞等の継続により世界自動車生産台数が前期を下回るとの予測もあるなか、売上高は新規受注や為替換算の影響等から前期に対し5.2%の増収の予想であります。

利益につきましては、国内外における改善合理化の推進を継続しているものの、原材料価格の高騰、急激な生産変動に伴う固定費負担の増加、将来に向けた研究開発投資等により、営業利益は前期比8.3%の減益、経常利益は同8.4%の減益、親会社株主に帰属する当期純利益は同6.9%の減益の予想であります。

なお、2021年10月28日付の「2022年3月期第2四半期決算短信」にて公表いたしました2022年3月期通期の業績予想（連結・個別）につきましては、直近の業績動向を踏まえ、以下の通り予想値を修正しております。

連結業績予想

（百万円未満切捨て）

2022年3月期 通期(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	723,000	47,000	50,000	32,000	199 08
今回予想（B）	743,000	52,000	56,000	35,000	217 74
増減額（B－A）	20,000	5,000	6,000	3,000	—
増減率（%）	2.8	10.6	12.0	9.4	—
（ご参考）前期実績 （2021年3月期）	706,376	56,707	61,107	37,612	234 00

（参考）個別業績予想

2022年3月期 通期(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	295,000	16,000	34,000	26,000	161 75
今回予想（B）	298,000	17,500	37,000	28,000	174 19
増減額（B－A）	3,000	1,500	3,000	2,000	—
増減率（%）	1.0	9.4	8.8	7.7	—
（ご参考）前期実績 （2021年3月期）	312,201	21,138	38,185	38,048	236 72

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	303,887	316,119
受取手形及び売掛金	115,950	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	107,311
電子記録債権	12,957	9,994
棚卸資産	73,751	86,886
その他	32,239	36,977
貸倒引当金	△370	△462
流動資産合計	538,416	556,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	53,493	53,429
機械装置及び運搬具（純額）	69,993	72,150
工具、器具及び備品（純額）	14,391	17,292
土地	15,561	15,835
建設仮勘定	17,457	15,388
その他	718	724
有形固定資産合計	171,615	174,820
無形固定資産	3,125	3,054
投資その他の資産		
投資有価証券	56,570	65,887
破産更生債権等	18	17
繰延税金資産	7,755	9,218
退職給付に係る資産	2,556	2,589
その他	2,244	2,202
貸倒引当金	△139	△138
投資その他の資産合計	69,005	79,777
固定資産合計	243,747	257,652
資産合計	782,163	814,479

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	95,989	96,514
電子記録債務	7,867	6,596
短期借入金	20,715	23,110
未払費用	23,366	23,879
未払法人税等	5,267	2,823
賞与引当金	5,420	2,307
製品保証引当金	2,622	3,060
その他	10,679	9,995
流動負債合計	171,928	168,287
固定負債		
長期借入金	230	512
繰延税金負債	7,938	14,738
役員退職慰労引当金	275	282
製品保証引当金	5,641	5,167
環境対策引当金	17	6
退職給付に係る負債	24,701	24,028
その他	1,991	1,936
固定負債合計	40,796	46,672
負債合計	212,724	214,960
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,270	14,270
資本剰余金	13,380	13,399
利益剰余金	480,214	499,081
自己株式	△52	△49
株主資本合計	507,813	526,702
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,690	26,118
為替換算調整勘定	4,291	12,154
退職給付に係る調整累計額	1,810	1,469
その他の包括利益累計額合計	29,792	39,743
新株予約権	222	199
非支配株主持分	31,610	32,873
純資産合計	569,438	599,518
負債純資産合計	782,163	814,479

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	499,523	552,397
売上原価	435,195	482,472
売上総利益	64,327	69,924
販売費及び一般管理費	30,212	31,598
営業利益	34,115	38,325
営業外収益		
受取利息	852	980
受取配当金	912	1,088
為替差益	-	898
投資事業組合運用益	-	899
その他	3,156	2,290
営業外収益合計	4,922	6,157
営業外費用		
支払利息	449	513
持分法による投資損失	431	473
為替差損	733	-
その他	419	233
営業外費用合計	2,034	1,219
経常利益	37,003	43,263
特別利益		
固定資産売却益	14	38
投資有価証券売却益	100	-
関係会社出資金売却益	2	-
特別利益合計	118	38
特別損失		
固定資産除売却損	432	358
投資有価証券売却損	2	-
投資有価証券評価損	-	3
独禁法関連損失	41	-
特別損失合計	477	362
税金等調整前四半期純利益	36,644	42,939
法人税等合計	13,039	13,020
四半期純利益	23,605	29,918
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,859	27,463
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,745	2,454

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,039	2,410
為替換算調整勘定	4,164	7,691
退職給付に係る調整額	432	△340
持分法適用会社に対する持分相当額	△43	20
その他の包括利益合計	9,592	9,782
四半期包括利益	33,198	39,701
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,348	37,414
非支配株主に係る四半期包括利益	2,850	2,286

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	36,644	42,939
減価償却費	27,605	25,821
持分法による投資損益(△は益)	431	473
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△91	80
退職給付に係る資産・負債の増減額(△は減少)	421	△1,104
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,362	△3,121
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△289	△36
受取利息及び受取配当金	△1,765	△2,069
支払利息	449	513
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△97	-
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	-	3
有形固定資産除売却損益(△は益)	418	320
関係会社出資金売却益	△2	-
独禁法関連損失	41	-
売上債権の増減額(△は増加)	△1,890	13,872
棚卸資産の増減額(△は増加)	△9,684	△10,181
その他の流動資産の増減額(△は増加)	3,915	△4,492
仕入債務の増減額(△は減少)	10,932	△3,181
未払費用の増減額(△は減少)	2,080	△66
その他	△2,490	△5,063
小計	63,266	54,707
利息及び配当金の受取額	1,762	2,066
利息の支払額	△449	△513
独禁法関連損失の支払額	△40	-
損害賠償金の支払額	△91	-
法人税等の支払額	△15,081	△10,994
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,366	45,266
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△75,376	△91,796
定期預金の払戻による収入	100,589	86,189
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△233	△5,248
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	840	0
連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の売却による収入	2,221	-
有形固定資産の取得による支出	△27,461	△21,065
有形固定資産の売却・除却による収支(△は支出)	334	388
貸付けによる支出	△3	△4
貸付金の回収による収入	4	6
その他	184	△737
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,100	△32,267

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,541	1,668
長期借入れによる収入	214	332
長期借入金の返済による支出	△9,280	△342
自己株式の取得による支出	△1	△1
ストックオプションの行使による収入	0	0
親会社による配当金の支払額	△6,196	△8,419
非支配株主への配当金の支払額	△2,386	△992
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,109	△7,755
現金及び現金同等物に係る換算差額	905	1,046
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	35,262	6,290
現金及び現金同等物の期首残高	104,202	161,855
現金及び現金同等物の四半期末残高	139,465	168,145

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、子会社の一部取引について、一定の期間にわたり充足される履行義務については一定の期間にわたり収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取り扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。なお、収益認識会計基準等の適用による四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取り扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取り扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)3
売上高									
外部顧客への売上高	242,975	100,054	76,316	58,641	18,692	2,844	499,523	—	499,523
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,617	195	3,671	3,957	24	—	23,466	(23,466)	—
計	258,592	100,249	79,987	62,599	18,716	2,844	522,989	(23,466)	499,523
セグメント利益又は損失(△)	23,916	△930	10,341	3,148	△1,340	△644	34,490	(374)	34,115

(注)1. セグメント利益又は損失(営業利益)の調整額△374百万円には、セグメント間取引消去3,776百万円及び配賦不能営業費用△4,151百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) 北米 …米国、メキシコ
- (2) アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド、マレーシア
- (3) 欧州 …英国、チェコ
- (4) その他…ブラジル

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)3
売上高									
外部顧客への売上高	231,659	132,310	79,879	77,475	24,474	6,597	552,397	—	552,397
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,371	5	2,542	2,911	138	△0	26,968	(26,968)	—
計	253,030	132,315	82,421	80,387	24,612	6,597	579,366	(26,968)	552,397
セグメント利益又は損失(△)	22,758	266	9,805	6,724	△2,241	61	37,373	952	38,325

(注)1. セグメント利益又は損失(営業利益)の調整額952百万円には、セグメント間取引消去4,904百万円及び配賦不能営業費用△3,952百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) 北米 …米国、メキシコ
- (2) アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド、マレーシア
- (3) 欧州 …英国、チェコ
- (4) その他…ブラジル

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。